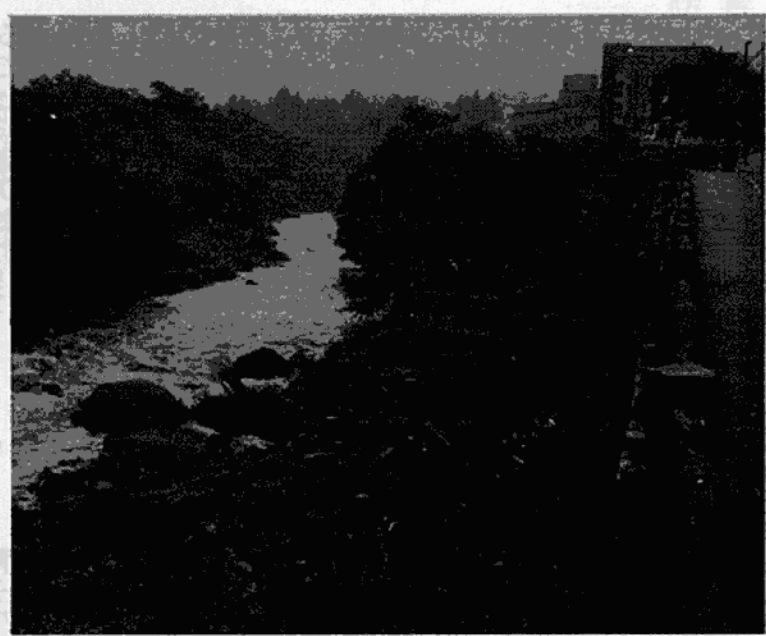
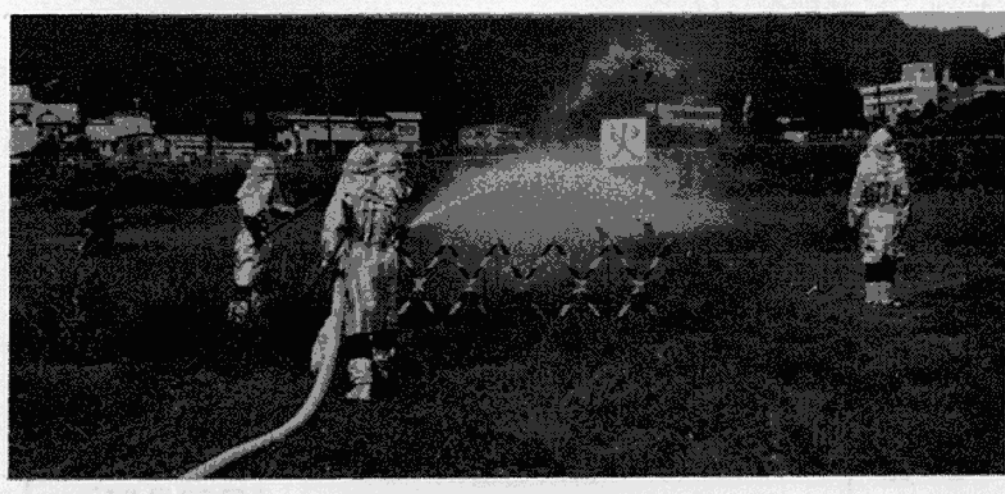


みんなのひろば

消防訓練

消防団夏期訓練が九月七日、ユースホテル前の埋立地で開かれました。  
 訓練には、第一分団から第十分団の百五十人が参加。火と赤書きした二層四方の看板を火点とし、放水訓練を行いました。  
 火災発生にそなえる訓練だけあり、各団員は汗を流して一生懸命に励んでいました。  
**消防団の夏期訓練**



雑木除去作業

川の少し上流では、川原に繁茂したヤナギが美しい流れをささげつつ、せつかくの眺めもだいなし。九月三日から、日光土木事務所の手で、この雑木除去が行われ、下河原付近二〇〇坪が、すっきりきれいになりました。河川環境整備として、ヤナギ二〇六本を切り倒したもので、八月二十四日に開かれた日光市防災会議の席上、星野市長が、日光八景もあの姿では...と発言したところ、すぐに日光土木事務所が取り上げて、スピード工事をしたものです。

人 事

日光市役所

- (九月一日付)
- ▽兼業務係長 福田正顕(水道課長)
- ▽総務課付副主幹 小平俊朗(保健衛生課長補佐兼保健防疫係長)
- ▽保健衛生課保健防疫係長 原寛(教育課社会教育係長兼中央公民館勤務)
- ▽教育課社会教育係長兼中央公民館勤務 坂本貞一(水道課業務係長)

雑木除去

神橋付近は、大谷川の流れの最も美しいところ。ここを訪れた人々が目を見張るところですが、ほ

学 童 野 球

第十回栃木県学童少年野球大会が八月十二日から八日間、宇都宮市で開かれました。  
 この大会には日光市代表として、ブラックパンサーズ(所小)、ブラックスシャドー(清小)、安良沢ファイターズ(安小)、日光ビクトリー(日小)の四チームが参加。県内各地から参加した百二十六チームと共に熱戦を展開しました。

その結果、安良沢ファイターズ(安小)は三回戦に進出しましたが、宝木ファイターズ(宇都宮)

に三対五で惜敗。  
 ブラックシャドー(清小)は四回戦で優勝候補の赤見クラブ(佐野)と対戦、四対七で惜しくも負けました。  
 また、ブラックパンサーズ(所小)は初のベストエイトに進出、雀宮南(宇都宮)と準決勝進出をかけて対戦しましたが、二対十二で敗戦しました。  
 昨年の大会でベストフォーまで勝ち進んだ日光ビクトリー(日小)は、本大会でも順調に勝ち進み、準決勝で赤見クラブ(佐野)と決勝進出をかけて対戦、一時は逆転したものの三対五で惜敗、惜しくも決勝進出はなりませんでした。

日光の学童野球チームの活躍は目覚ましいものがあり、先の「全国スポーツ少年団軟式野球大会」出場をかけて北関東大会に出場した安良沢ファイターズといい、今回の四チームの活躍といえは素晴らしいものでした。日光のレベルアップはさることながら、それを支える児童の努力と父兄の協力が、結果したものと思われまます。

第三日曜日  
 は  
**家庭の日**  
 家族そろって  
 話し合いを...

ゴミを考え直そう



ゴミは みんなのもの

市役所の仕事といえば、だれでも頭にうかぶのがゴミの処理。それは、この仕事は市の仕事の中で大きなウェイトを占め、市民生活と密接なつながりがあるからでしょう。  
 とここで、市がゴミ処理を始める前はどうかだったでしょう。みんな自分の手で焼いたり、埋めたりしていたわけです。これは、当時としては当